

ゆい育成だより

第129号
創立55周年記念号

平成29年12月12日



発行：由井第一地区子ども育成団体連絡協議会（由井第一地区 地子連）
HP：<http://www.yui1-chiku.chikoren.mydns.jp/>

ゆめ えがお こ かい 夢パワー！笑顔ひろげる 子ども会



平成4年からの
過去のテーマ

- ◇ 子ども会 ひとり 一人 みんなが 主役
- ◇ 次世代を担う子どもの ふるさとづくり 応援しよう育成会
- ◇ はぐくもう 未来をにう子どもたち
- ◇ 心 豊かな子どもに 育てよう
- ◇ 手と手をつなぎ 心をつなごう！ 地域の中の子ども会
- ◇ 笑顔があふれる子ども会 やさしく見守る地域の和
- ◇ 元気なあいさつ 楽しい仲間 地域をつなぐこども会

「地子連創立 55 周年を迎えて」

由井第一地区地子連会長 酒井 敬夫



昭和37年に発足した由井第一地区子ども育成団体連絡協議会（由井第一地区地子連）は、創立55周年を迎えることができました。

昭和35年に由井第一小学校の学校子ども会としてスタートして北野、打越、長沼地域に地域の有志の人々により各子ども会が誕生しました。由井第一地区地子連が55年もの永きにわたり子ども会活動を通じて地域活動を継続できたのも地域の皆様方のご理解、ご支援のお陰かと心より感謝申し上げます。

子ども会活動は地域の集団活動であり、異年齢集団での遊びや体験を通して、学校や家庭ではなされない体験的な地域教育で、子どもたちのつながり、大人のつながり、地域とのつながりを大事にして子どもたちの育成を目指しています。

今後も、当地子連はより一層努力して地域における子ども会育成に努めて参りたいと思いますので皆様方の絶大なご支援をよろしくお願い申し上げます。

「創立55周年にあたり感謝を込めて」

北野子ども会育成会会長 長谷川 真紀

私が子供の頃は、子ども会活動も盛んで、地子連さんの各活動にも会場を埋め尽くす程の仲間が集っていたのを思い出します。が、今節残念なことに様々な要因が重なり、子ども会離れが著しい状況です。けれども、どうでしょう、核家族化や、少子化がすすみ、親御さん個々の負担も多い今だからこそ、地域のつながり、交流が不可欠のように思うのです。

以前は当たり前にあった、他世代や地域との関わり、子供達も「どこそこの誰々ちゃん」と、よりふるさとに自分の居場所があったように思います。それは、必要不可欠な『安心』『安全』な生活基盤につながるものと実感しています。関わりを持たなければ、目を向けなければ知らずに、理解しないままにいることも多々あります。

一歩踏み出し、他と関わり理解することで他者をより思いやる心が芽生え、家族以外にも親身になってくれる多くの大人の存在に気づくことで、未来を担う全ての子ども達の力になってくれると信じています。

私共子ども会を支え、地域を繋げ、そのリーダーを担う熱誠あるご活躍とご尽力のもとで北野子ども会は、安心して活動させていただいております。あらためて、酒井会長をはじめ役員の皆様のお見守りの中、様々を感じ取り、まっすぐ逞しく育っている子ども達の成長を日々感じさせていただいております。

子ども達の健全育成への熱意あるご支援に心より御礼申し上げますと共に、今後ともどうぞよろしくご指導のほどお願い申し上げます。創立55周年、本当におめでとうございませう。



由井第一地区 地子連 創立55周年おめでとう

地域の子どもたちを見守ってくださっている

皆様よりお祝いのお言葉をいただきました



「みんなのこどもはみんなで育てる」

由井第一小学校校長 竹内 浩子



地子連創立55周年おめでとうございます。この4月より着任いたしました。地子連創立55周年、市制100周年由井第一小学校創立144周年等この佳き年度にご縁ができましたことをうれしく感じております。

由井第一小学校は、今年度 ～みんなのこどもはみんなで育てる～ をモットーに、

- 地域・保護者と連携した行事
- 地域の伝統文化の伝承
- 地域の方からの学び
- 地域に愛着をもつ由井一つ子の育成 を大切にしています。

地子連では、子供たちが、地域を愛し、地域で活躍できるような行事をたくさん開催されています。

～みんなのこどもはみんなで育てる～まさに、この精神だと感謝の気持ちでいっぱいです。今後とも、地子連をはじめ、地域の皆様と連携を深め、子供たちをみんなで育てていくことができますよう、ご支援よろしく願いいたします。

「学校と地域が一緒になって楽しく！」

長沼小学校校長 石倉 富男

由井第一地区地子連（子ども会）は、学校・町会・自治会の皆様が、増える子供たちを地域で遊ばせ、育てるために55年前に設立された組織だと聞いております。核家族化や子供の少子化など、社会が大きく変遷する中で、これまで運営に尽力されてきた地域の方々の子供たちへの思いと努力が、大きな力となって地域を結び、55周年を迎えることができたことに、誠に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今、八王子市は、全小中学校を地域運営学校（コミュニティ・スクール）として、地域が学校づくり、地域が子供たちを育てる施策を進めています。地域をつなぐ『子ども会』組織は、今後も子供たちの健全育成にとって重要な役割を担っていくことが求められていくと考えます。時代が変わって、ホームページを開設したりメールで情報を共有したりなど、運営面の改善はあるようですが、「子どもたちのために楽しく！」という酒井会長の思いを地域全体で共有し、原点に戻って、学校と地域が一緒になって楽しく『子ども会』の一層の発展を進めていかなければならないと考えます。今後ともよろしく願いいたします。



「変わらないもの、子どもたちのために」

打越中学校校長 市場 陽一郎

創立55周年おめでとうございます。今の時代、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化し、子供会の活動も変わりつつあるようです。その中で変わらないものとは何でしょうか。人と人の関わりの中で成長していく子どもたちを見守り、励まし続けてこられた地子連の皆様の優しく温かい思いなのではないでしょうか。子供会の活動は参加した子どもたちの心の中に残ります。いつか子どもたちが地域作りの担い手となった時、自分たちを見守り育ててくれた地域の皆様のことを思い出すのではないかと思います。



由井第一地区地子連の皆様の「子どもたちのために楽しく」との思いは、学校の教師が常に意識しなければならない「視点」と同じであると感ずります。地域と学校がこの共通の「視点」を持ち連携できたなら、本当に素晴らしいことではないでしょうか。変わっていくもの、変わってはいけないものを見据えた、子どもたちを真ん中にした地域活動にあらためて敬意を表します。それと共に、この活動受け継がれ、60年、70年と続くことを心から願っています。

「Hurray ! 笑顔ひろげる子ども会」

由井東地区青少年対策委員会会長 鈴政 文山



由井第一地区子ども会育成団体連絡協議会創立55周年、おめでとうございます！

55年という歳月は、子どもたちを取り巻く環境はもとより、人々の価値観、地域社会や学校の姿を、目まぐるしく変化させてきました。その長い時間の流れの中で、一貫して子どもたちの健全育成と、笑顔あふれる地域社会づくりに貢献してこられた貴会の活動と実績に、心より尊敬と感謝の意を捧げます。

今日、子どもの数が減り、様々な社会的制約や価値観の縛りの元で、学校や家庭を離れて子どもたちが自由にのびのびと遊べる機会が少なくなっています。そのような環境 下において、異年齢、異学校集団の子どもたちに、球技大会やサブリーダー研修をなどの活動を通じて、学校や家庭ではなされない地域教育を実践されている貴会の活動は、湯殿川、浅川の清流のごとく、また緑豊かな多摩丘陵を吹き渡る風のごとく、地域の大人たちにとっても、輝く未来を生きる子どもたちにとっても、かけがえのない財産になることでしょう。青少対は、これからもますます、夢パワー笑顔ひろげる子ども会の、自立心、社会性、リーダーシップを備えた子どもたちの健全育成を目指す活動を応援します。

「55周年を祝して」

八王子市子供会育成団体連絡協議会会長 常盤 方子

由井第一地区子供会が、創立55周年を迎えられました事、心よりお喜び申し上げます。

この間、初代峯尾栄一会長はじめ現12代の酒井敬夫会長まで歴代の会長とこれまでの役員の皆様方の熱意と努力に敬意を表す次第です。

急速な時代変化の中にあっても子ども達にとって地域社会での集団行動を通じ、協調性、創造力を養うことは大切であります。地区では“サブリーダー研修会”が毎年積極的に実施され、また年に3回発行される“由井育成だより”により単位子ども会の活動の様子も垣間見られます。このような地域の子どもの為の環境作りに尽力されている役員の皆様には感謝の念でいっぱいです。

今後も子ども達の為、益々の発展と継続を祈念し、お祝いの言葉といたします。

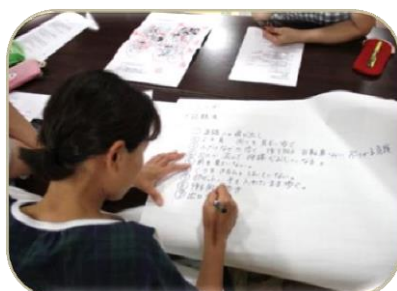


創立55周年イベント

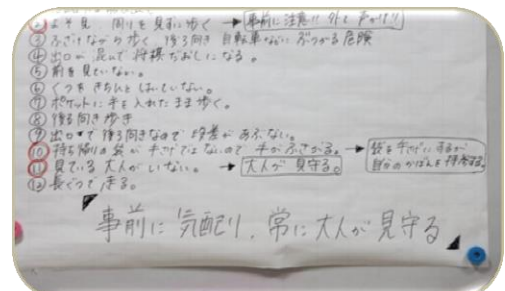
危険予知訓練（KYT）研修会報告

平成29年7月15日（土）、春日会館にて、危険予知訓練（KYT）研修会を地子連創立55周年記念イベントとして開催しました。危険予知訓練とは、家庭や職場や作業の状況、遊びの場、その他日常ありがちな場面を取り上げて、どこに危険が潜んでいるのかをみんなで考え、安全にするにはということ学びます。イベントや日々の子ども会活動を始める前に、5分程度の時間を割いて、今日の活動で気を付けるべき「危険」について自分たち自身で考えるようにすると、他の人から「これは危ない、あれは危ない」と説明を受けるよりも、自分自身で何が危ないのか、なぜ危ないのか、どうやればその危険を回避できるのかと考えることで、安全に活動するという意識がより高まります。今回のKYT研修会では、子どもたちとの野外活動（夏休み中の子どもの居場所、お祭り・花火などのイベント会場）にスポットをあててKYTの講義を行い、そのあと参加者の皆さんでグループ別にワークショップ形式で子どもたちが集まる場所を想定したKYTを体験、検討結果の発表を行っていただきました。お忙しい中、ご参加いただいた由井第一小学校の先生方、青少対の皆様、北野子ども会の皆様、そのほか地域の皆様にご場をお借りして御礼申し上げます。

〈グループごとに話し合い、模造紙に書き出します〉



〈発表し、参加者全員で共有しました〉



「子ども会のリーダー活動に参加して」

シニアリーダー 高校1年 佐藤 舞佳



私は4年生からサブリーダー研修を受講し始めました。サブリーダー研修の中で一番思い出に残ったのは、6年生の時のクリスマス会で、友達と2人で女神をやった事です。ジュニアリーダー研修では、8月の姫木平でのキャンプで友達がたくさんでき、それ以降の活動が楽しくなりました。

高校生となった今では、シニアリーダーとして市子連のイベントに参加したり、八王子市のイベントのお手伝いを行ったりしています。また、毎月行う定例会に参加しシニアリーダーの先輩方と一緒に子ども会活動の楽しさを伝えられるよう活動を行っています。

私はこれからもシニアリーダーとしてサブリーダー研修、ジュニアリーダー研修で学んだ事を忘れずに活動を続けていきたいと思っています。そして、ひとりでも多く「子ども会活動をやっていた良かった。」と思ってもらえる活動を行っていききたいと思っています。

平成29年度サブリーダー 野外活動研修報告

平成29年10月29日(日) 長沼六社宮の長沼町会館にてディキャンプを開催しました。9月予定のキャンプが台風のため残念ながら中止となり今回のディキャンプ開催となりました。

この日も台風22号が近づいて雨が降っていましたが、地子連おじさんパワーがブルーシートで屋根を作り、その下にかまどを設営し、そこで子どもたちが飯盒でご飯を炊いて、カレーを作りました。雨になりましたがみんなで作ったおいしいご飯にカレーをかけて、ワイワイ食べて、楽しく飯盒炊飯研修ができました。

予定していた追跡ハイキングはできませんでしたが、屋内でロープワークの研修をし、レクのゲームで遊びました。あっという間の時間でした。

〈開村式〉



〈ロープワーク研修〉



ロープを使い、日常役立つ結び方を学びました。

- ◆本結び…ロープ同志を結ぶ
- ◆巻き結び…細長いものを束ねる結び
- ◆8の字結び…ものに輪をかけて締める結び

〈ペットボトルを使ったピザ作り〉



- ・段ボールオープンで焼きました
- ・スイーツピザ、美味しかったです♪
- ・トッピングのチョコバナナは最高でした

〈雨の中の活動も無事終了～楽しかった～〉



大雨の中、ブルーシートの屋根の下で活動しました

〈ブルーの屋根の下での飯盒炊飯〉



- ・雨！というのは、やはり飯盒炊飯をするのは、大変！その大変な中、雨にも負けず、みんなよく頑張りました♪
- ・サブ研キャンプ初のビーフカレー！美味しかった～♪
- ・ご飯も美味しく炊けて良かったです♪
- ・雨の中で、自分たちで作ったカレーを食べ、楽しいゲームをして、みんなニコニコで活動できました♪

☆ 平成29年度 地子連役員 ☆

役職名	名前 (出身育成会)	役職名	名前 (出身育成会)
会長	酒井 敬夫 (北野)	会計	石井 清美 (北野)
副会長(総務)	曾我 貴美子 (東長沼)	事業担当	山田 隆典 (打越)
〃(市子連)	松田 和広 (北野)	〃	弘田 暢幸 (北野)
〃(行事)	溝口 真理子 (打越)	〃	佐藤 貴仁 (北野)

※地子連とは、「山井第一地区子ども会育成団体連絡協議会」の略称です。地域の子どもの楽しい活動や子ども会活動を支援していきます。(地子連曾我635-9937)